



第 577 号

令和8年1月1日

公益財団法人 千鳥ヶ淵  
戦没者墓苑奉仕会  
〒102-0075 千代田区三番町 2  
電話 03 (3261) 6700  
FAX 03 (3261) 6712



<https://boen.or.jp/>  
郵便振替口座 00140-2-42556

編集人 中村 勤  
発行人 槻木 新二

令和8年

謹賀新年



富士山の日出

年頭のご挨拶



会長 鈴木 俊一

(公財) 千鳥ヶ淵戦没者墓苑奉仕会

会長 鈴木 俊一

明けましておめでとうございます。  
昨年を振り返りますと、わが国では  
終戦80年、昭和百年の催しを始め、好  
評を博した大阪・関西万国博覧会の開  
催や二人の日本人のノーベル賞受賞、大  
谷翔平選手を始めとするアスリートの活  
躍など明るい出来事があった一方で、長  
期にわたる夏の記録的な高温による農  
作物への被害やクマの人里や市街地への  
出没による人的被害などが生じました。  
世界に目を向けますと、ロシアのウク  
ライナ侵攻の長期化、イスラエルのガザ  
における軍事衝突など、世界では今も  
なお紛争は続いております。  
このような中であって、昨年10月17日  
には秋篠宮皇嗣同妃両殿下をお迎えし  
て終戦80年、令和7年度秋季慰霊祭を  
厳粛に滞りなく挙行することができま  
した。本行事につきましては参列者  
418名と昨年度に比し約40名を超え  
る規模で実施することができ、関係各  
位から賜りましたご支援ご協力に対し、

昭和天皇御製碑  
秩父宮勢津子妃殿下揮毫  
くにのためいのち  
ささげしひとりの  
こととおもへばむねせまり  
くる

上皇陛下御製碑  
常陸宮華子妃殿下揮毫  
戦なき世を  
歩みきり思い出づ  
かの難き日を  
生きし人々

改めまして衷心より厚く御礼申し上げ  
ます。  
さらに年間を通じまして多くの関係  
諸団体による法要行事が執り行われた  
ことに対しましても重ねて御礼申し上げ  
ます。  
また、終戦80年の節目に当たり当奉  
仕会事業として、戦没者慰霊のあり方  
についての小論文の募集・発表、墓苑の  
施設・設備等のリニューアルのための募  
金、及び「戦争の記憶を伝える」をテー  
マとした記念講演会を実施しました。お  
陰様で各事業はそれぞれの目的を達成  
することができました。  
さて、千鳥ヶ淵戦没者墓苑につつまし  
ては、昭和34年3月28日、昭和天皇皇  
后両陛下の行幸啓を賜り、竣工されて  
以来67年の歳月が過ぎました。戦後間  
もなく世相混乱のなか墓苑の創建に携  
われ、またその後は戦没者の慰霊奉賛に  
多大なご尽力をされた方々並びに奉仕  
会の活動にご支援ご協力頂いた多くの皆  
様のご芳情に思いを致し、年の始めにあ  
たり、今一度戦没者慰霊の原点に立つて  
奉仕会の責務完遂をお誓い申し上げます。  
また、令和5年の戦没者の遺骨収集  
の推進に関する法律の改正により、計画  
的に遺骨収集が行われています。私は

年間を通じて遺族会、戦友会並びに  
篤志団体による慰霊行事・団体参拝、  
宗教団体による慰霊法要が行われ、ま  
た多くの一般の方々のご参拝を頂いてい  
る一方で、戦没者崇敬思想の普及の指  
標となる参拝者数もコロナ禍以前の令和  
元年度に迫る勢いがあるものの、会員数  
は減少の一途をたどっております。また、  
ご遺族等の会員を含めた関係者の高齢  
化が進む中、これら諸課題の解決策等  
について検討して参りたいと考えており  
ます。  
千鳥ヶ淵戦没者墓苑には、現在37万  
983柱（令和7年10月末現在）のご  
遺骨が奉安されておりますが、これらの  
ご遺骨は先の大戦における海外での全戦  
没者240万人を象徴するものです。  
我が国をはじめ全世界の恒久平和へ繋  
がべく、戦没者に対する慰霊奉賛の心  
を風化させることなく、確実に次の若い  
世代に引き継いでいけるよう、私どもは  
日本国民全体の墓苑として、末永く奉  
賛されるよう努めて参る所存であります。  
終戦80年の節目の諸成果を一過性のも  
のとせず後世にしっかりと受け継いでい  
かなければならないと考えています。関  
係各位におかれましても、それぞれの立  
場において啓蒙していただきたいと思います。



謹んで新年のお慶びを  
申し上げます  
日本遺族会  
中央乃木会  
東郷木会  
陸修偕行会  
英霊にこたえる会  
大東亜戦争全戦没者  
慰霊団体協議会  
特攻隊戦没者慰霊顕彰会  
水笠保存会  
三笠保存会  
靖国神社協会  
日本国防協会  
千鳥ヶ淵戦没者墓苑奉仕会

戦没者慰霊奉  
賛の輪が更に広  
げられますよう、  
今後とも引き続  
き温かいご支援  
を賜りたくお願  
い申し上げます。  
本年の皆様方の益々のご多幸とご健  
勝をお祈り申し上げまして、年頭のご  
挨拶と致します。





千鳥ヶ淵戦没者墓苑奉仕会主催  
「終戦80年事業 記念講演会」を開催

11月16日(日)「戦争の記憶を伝える」(副題:戦争の風化を防ぎ、平和の尊さを誓う)をテーマにした奉仕会主催の記念講演会が聴講者約30名の参加を得て墓苑会議室で開催された。講師には、ビ

ルマ方面戦没者慰霊のため現地を幾度も訪れている藤原淑子さんとNHK歴史秘話ヒストリアの解説者(軍事考証、時代考証)として出演多数の関口高史さんが務めた。

講演会は2部構成で、前段を関口さんがビルマ作戦の概要を、後段を藤原さんが自らのビルマ作戦での戦没者巡礼の体験と英国人との交流についてそれぞれ講演した。

講演会の前段、関口さんは「なぜビルマ作戦が実行されたか」について、ビルマ作戦の必要性と可能性を、戦略、作戦及び戦術レベルの区分ごと考察し、本

とは何か、敗北とは、④無責任がもたらした悲劇(自らの主張に固執)。結論として、米英軍は「環境(可能性)重視型」軍隊であったの対し、日本軍は「任務(必要性)重視型」軍隊で、ビルマ作戦ではその限界を露呈し悲惨な結末となった。

後段の講演で藤原さんは、父親・今里淑郎さんは凄惨な状況となったインパール作戦から奇跡的に生還した日本兵の一人で、戦後、ミャンマーの上座僧となり戦没者慰霊に残りの人生を捧げたと言語、藤原さんも27年間父親と一緒にビルマ各地を戦跡巡礼し、父亡きあとも8年間現在に至るまで現地での慰霊を続けている。藤原さんの父親は小説「ビルマの竖琴」の水島上等兵を思い起こさせてくれた。



講演する関口さん



講演する藤原さん

6日後の10月15日に京都霊山観音で日英遺族交流会が開催、さらに2025年8月に英国の対日本戦勝80周年記念式典での日英交流に至り、これらの活動を通じて藤原さんは次の2つの結論に至ったと述べた。

① 戦争の悲惨さを語り継ぐ…平和は当たり前でない、生きられなかった戦没者の命を受け継いでいる我々。その大切な命をどう活かすか。

② 終戦80年の時間を経て…英国人との交流から、先の大戦は国を、家族を、守るため戦った相手がたまたま英国だった。英国が憎くて戦争をした訳でない。「昨日の敵は今日の友」の精神で私は生きていきたい。

~~~~~

**秋の奉仕茶会**

11月9日(日)、千鳥ヶ淵戦没者墓苑奉仕茶会(会長・市野昭一さん)主催による「秋の奉仕茶会」が墓苑前屋で令和元年以来、6年ぶりに開催された。

茶会には、遠州流茶道・田中宗末先生、表千家不白流・岩瀬柳満先生と藤原柳玲先生、表千家流・実行委員会の3席主が参加された。

あいにくの小雨の中、市野会長を先頭に、3席主が前屋から六角堂へ進み、献茶式が行われ、市野会長がお菓子を送り、続いて3席主がお茶をそれぞれ献じ、参列者一同とともに拝礼し、先の大戦での戦没者に対して慰霊の誠が捧げられた。

この後、保松奉仕会理事長から秋の茶会開催に対し謝意が示された。

献茶式終了後、前屋に設けられた3つの茶席で開始され、茶会の気分を盛り上げるため、吉川さんをはじめとする5人メンバーの木管五重奏グループ・The Joyeux Baveursの音色が静かに墓苑に響きわたった。小雨も昼前には止み、参加者は色づき始めた樹々とともに秋の茶会を楽しんでいた。



表千家流・実行委員会呈茶席



遠州流茶道・田中宗末先生呈茶席



表千家不白流・岩瀬柳満及び藤原柳玲先生呈茶席



墓前での献茶

ソ連抑留戦友・遺族会東京ヤゴダ会  
第29回鎮魂慰霊祭

11月3日、ソ連抑留戦友・遺族会東京ヤゴダ会は第29回鎮魂慰霊祭を本墓苑で執り行い約50名が参列した。

慰霊祭は、幹事・島本正彦さんによる開会の辞に始まり、国歌斉唱、黙禱、献茶の儀、神道慰霊祭、奉納演奏・民謡、献花及び追悼の思いの紹介と進行し、最後に巡検喇叭で終了した。

追悼の思いの紹介で、奉仕会事務所の

の応接室に展示している「花嫁人形」について島本幹事から人形に添えられているメッセージ「奉納 陸軍軍官学校第7期生の諸霊へ…日本男児として生まれ、新天地満州の地と同徳台で共に学び終戦と同時に抑留され、妻を娶ることなく逝ってしまった同期生を思うときの胸がつまる。我ら生を得て、祖国に帰った同期生一同、ここに日本一美しい花嫁を諸兄に捧げる。平成18年5月14日

同徳台七期生」が紹介された。(注:人形は奉仕会事務所の応接室に保管しています。ご覧になりたい方は奉仕会へお声がけください)



花嫁人形



献茶の儀



墓前での法要



神道慰霊祭

第11回 全国宗教者による戦没  
殉難者慰霊法要

先の大戦の戦没者を慰霊する戦没殉難者慰霊法要が11月13日、千鳥ヶ淵戦没者墓苑で行われた。

法要は、世界連邦日本仏教徒協議会(横浜市)と関西宗教懇話会(大阪市)が共催し、今年で11回目となり、天台宗や真言宗など仏教7宗11派から52人の僧侶が参加した。導師を務めた念法真教燈主の桶屋良祐さんは墓前で慰霊の祈りを捧げた。

この法要は、宗旨宗派の垣根を超えて世界平和の実践を図ることを目的に行われている。

今年で終戦80年の節目となり、導師を務めた念法真教燈主の桶屋良祐さんは「今日もなお世界の各地で繰り返される紛争を鎮め、全人類をして悲痛なき日々を速やかに実現して欲しい。ご英霊の皆さまの礎のもとに、私たちの幸せな今日がある。宗旨宗派を超えて感謝をすることを今後も続けさせていきたい」と述べた。





岩手県遺族会 9月16日



長野県飯山市遺族会 9月9日



静岡県川根本町遺族会 9月28日



群馬県榛東村遺族会 9月27日



陸修偕行社 9月11日



富士浅間神社 9月24日



長野県飯田市遺族会 9月24日



千葉県いすみ市遺族会 10月18日



石川県津幡町遺族会 9月30日



東京都多摩市遺族会 10月9日



東京都武蔵村山市遺族会 10月6日



静岡県遺族会 10月4日



永谷天満宮氏子会 10月22日



浄土真宗本願寺派（鹿児島寺族婦人会連盟） 10月21日



埼玉県和光市遺族会 10月14日

各団体の慰霊参拝





立正佼成会 山形支部 10月31日



東京メレヨン会 10月26日



神奈川県茅ヶ崎市遺族会 10月23日



神奈川県平塚市遺族会 10月29日



神奈川県寒川町遺族会 10月28日



千葉県八街市遺族会 11月6日



福島県郡山市遺族会 11月3日



神奈川県海老名市遺族会 11月2日



神奈川県大和市遺族会 11月12日



さいたま市浦和遺族会 11月10日



東京都羽村市遺族会 11月7日



愛媛県西条市遺族会 11月10日



広島市遺族会 11月10日



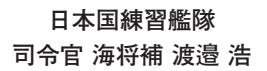
記念講演会 11月16日



清掃奉仕会 11月15日

各団体の慰霊参拝

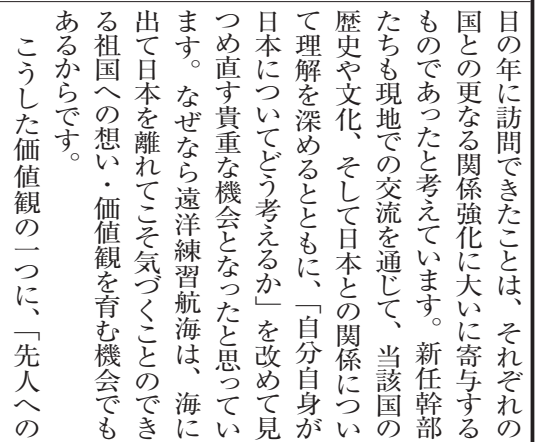




海將補 渡邊 浩

上げます。

テマラの両国に、節



畏敬」があると思っています。今回の遠洋練習航海でも、先の大戦を含めて洋上で犠牲となられた方々の追悼、訪問国に眠る日本兵等の墓前での追悼、訪問国の英雄や戦没者に敬意を表しての献花を行いました。また、ハワイ方面からの帰国の途上では、激戦から80年を迎えた硫黄島沖を航過し、洋上から追悼いたしました。古今東西を問わず、「国のために身を捧げられた先人」に畏敬の念を抱き、先人の「献身」「勇氣」「犠牲心」といった精神に共感して自らもそうありたいと思うことは、国防を担う

者として当然のことであり、崇高な自衛隊の使命のために働く原動力となるものと確信しています。

練習艦隊は、今後とも遠洋練習航海を通じて、国民の信頼と負託に応えることのできる若き幹部海上自衛官を育ててまいる所存です。引き続き、皆様の御理解と御支援を賜りますようお願い申し上げます。令和7年度遠洋練習航海の御報告とさせていただきます。ありがとうございます。

◎奉仕会年度会費納入者（団体・個人）（敬称略、順不同）  
富士ダイス（株）27名、中川昌久、藤井 隆、阿部陽治、坪倉君代、越 修一、松本加代子

◎新入会員（敬称略、順不同）※（正）は正会員、（終）は終身会員、（特）は特別会員  
横山 稔（正）、井浪 涼（正）、大原妙順（正）、本城典之（正）、高市奈都子（正）、長 和子（終）、吉村靖子（終）

◎奉納者（団体・個人）（敬称略、順不同）  
静岡県遺族会、武蔵村山市遺族会、和光市遺族会、埼玉県遺族連合会、神奈川県遺族会、宮城県連合遺族会、茅ヶ崎市戦没者遺族会、平塚市遺族会、中央区遺族会、さいたま市浦和遺族会、大和市戦没者遺族会、東部ニューギニア戦友遺族会、比島ミンダナオ島方面戦没者遺児の会、東京メレヨン会、東京ヤゴダ会、英霊にこたえる会、かむながらのみち、関西宗教懇話会、世界連邦日本仏教徒協議会、自徳院・東前寺、普明会教団、解脱会、丸山教藤の花会、日蓮宗神奈川県第二部檀信徒協議会、金光教天樂会関東支部、新宗連、水交会、愛媛東予市万灯講、帝国華道院研究部、千鳥ヶ淵戦者墓苑奉仕茶会、櫻晴れ清掃奉仕会、アクトエイブワン（株）、（株）総合防災ソリューション、カライジ（株）、馬野孟彦、通口克代、菅原里工子、市岡貴美、柴田米實

洋上追悼（硫黄島沖）

パタゴニア水道を航行

マゼラン海峡からの南十字星

(皆様のご芳志に篤く御礼を申し上げます)

令和7年11月30日までの受付分を掲載、12月1日以降の受付分は次号に掲載します。

（不同）  
ライオンズクラブ 清掃奉仕、阿含宗 清掃奉仕、千鳥ヶ

◎参拝団体(前項以外、敬称略、順不同)  
多摩市遺族会、いすみ市遺族会、神奈川県寒川町遺族会、愛知県東海市遺族会、海老名市遺族会、愛知県長久手市遺族会、八街市遺族会、長野県辰野町遺族会、羽村市遺族会、広島市遺族会、愛媛県西条市遺族会、奥州市成金崎遺族会、御前崎市遺族会、柏江市遺族会、日蓮宗栃木県宗務所、立正佼成会、高野山支部、永谷天満宮氏子会、アジア南太平洋協力会、智山青年連合会、高野山真言宗、曹洞宗埼玉第二宗務所、本門佛立宗、岡山県民主医療機関連合会、千代田区海洋少年団、喇叭保存会、喇叭伝承会、東京郷友連盟、自衛隊中央病院、陸自衛生学校

水交會 愛媛東子万灯譚 帝國華道院研究部 千鳥ヶ淵觀者墓苑奉仕茶會  
櫻雨れ清掃奉仕會、アケテイブワン(株)、総合防災ソリヤーシヨ、日本パ  
ーカライジング(株)、馬野猛彦、樋口悅代、菅原里江子、市岡貴美、柴田米實  
福井康夫・博子、芹川いち子、山村龍雲、竹内一香、藤平一照、竹内一養  
近藤佐季子、藤間享幸嘉、吉永龍奏、吉永龍暘、安藤一感、加賀吞正子、渡  
邊榮三郎、奥住榮子、山本行徳、水谷宗雅、佐藤浩士、金澤尉順、菅沼豐子  
松藤みどり、宮崎遼一、御手洗朋子、杉村克彦、岩浅博之、永友 隆、秀平  
良子、河野典子、徳田 新、酒井治雄、齋藤宏治、岩崎明生、福島一貴

◎奉納者（団体・個人）（敬称略、順不同）

静岡県遺族会、武蔵村山市遺族会、和光市遺族会、埼玉県遺族連合会、神奈川県遺族会、宮城県連合遺族会、茅ヶ崎市戦没者遺族会、平塚市遺族会、中央区遺族会、さいたま市浦和遺族会、大和市戦没者遺族会、東部ニューギニア戦友遺族会、比島ミシタナオ島方面戦没者遺児の会、東京メレヨン会、東京ヤゴダ会、英霊にこたえる会、かむながらのみち、関西宗教懇話会、卅界連邦日本仏教徒協議会、自徳院、東前寺、普明会教団、解脱会、丸山教藤の花会、日蓮宗神奈川県第二部檀信徒協議会、金光教天樂会関東支部、新宗連

◎奉仕会年度会費納入者（団体・個人）（敬称略、順不同）  
富士ダイス（株）27名、中川昌久、藤井隆、阿部陽治、坪倉君代、越修一、松本加代子

◎新入会員（敬称略、順不同）※（正）は正会員、（終）は終身会員、（特）は特別会員  
横山稔（正）、井浪涼（正）、大原妙順（正）、本城典之（正）、高市奈都子（正）、長和子（終）、吉村靖子（終）

この刊行物は、**宇くじ**<sup>※</sup>の社会貢献広報事業として助成を受け作成されたものです。



(公財) 千鳥ヶ淵戦没者墓苑奉仕会への入会のご案内

千鳥ヶ淵戦没者墓苑奉仕会は、皆様のご支援に支えられ活動しています。  
当会では皆様のご入会を心からお待ちしております。

## 1 会員の種類と会費

| 区 分   | 名 称   | 会 費          |
|-------|-------|--------------|
| 個 人   | 正 会 員 | ¥3,000/年     |
|       | 終身会員  | ¥30,000（1回）  |
| 団体・法人 | 特別会員  | ¥10,000/年    |
|       | 永代会員  | ¥100,000（1回） |

## 2 会費の納入

(納入要領の細部は、千鳥ヶ淵戦没者墓苑HPに記載しております)

- ①郵便局での振り込み  
・郵便振替口座：記号・番号 00140-2-42556
- ②銀行での振り込み（住所・氏名はメール等で別途お知らせ下さい）  
・振込先：りそな銀行 九段支店  
・店番号：274  
・普通口座：0831949  
・口座名義：公益財団法人 千鳥ヶ淵戦没者墓苑奉仕会

### 3 会員の特典

- ・2ヶ月に一回発行する広報紙「千鳥ヶ淵」(行事案内含む)を送付します。
- ・秋季慰霊祭へ希望すれば参加できます。(多数の場合抽選となります)
- ・永代会員名簿は、秋季慰霊祭で奉納されます。

参拝して想う（休憩所ノートより）

○子育て世代です。20年後の100年の節目にまた来ますね。（B・S）8/18

○私は中国の留学生ですが、日本は本当に大好きです。戦争はどの国であっても被害者です。中日両国が憎しみを捨て、団結し平和を築けることを願っています。

8/22

○この世に生を受けた全ての人々が、その生涯で誰も殺めることもなく、善き人のまま命を全うすることができますように。人々の心にある憎しみや差別の種が花を咲かせることがないように。今、この国に戦争のない時代に生まれた人間として、責任を持って生きていきます。

（丸）9/15

○消息がわからない曾祖父のことを思い出しました。祖国に帰れなかったこと、どれほど無念だったかと今でも日々考えます。曾祖父が生きられなかった人生を精一杯まっとうしようと思います。

(Minori) 9 / 15

○亡父は元予科練少年飛行兵、最後の特攻隊員となる予定でした。出撃命令が下される直前に熊本の人吉基地で終戦を迎えました。父は平成10年に亡くなりましたが、生前には千鳥ヶ淵と靖國神社にお参りしたいと言っていました。今日、父の遺影を写したスマホを持ってお参りに来ました。父の思いを果たせたと思います。

(入月) 9 / 23

○本日初めてこちらへお伺いさせていただきました。おかげ様で本日も家に帰ると妻がおり、温かい食事を食べることが出来ます。おかげ様で本日も温かいお風呂に入り、温かい布団で眠ることが出来ます。今日この日まで生きてこられた事に感謝します。まずは自分に出来ることに、自分の周りの人を思いやり暮らしていきます。この素晴らしい日本国が次の世代、そして次の次の世代へと永遠に続くように全力で生きさせていただきます。

(山口) 11 / 5

## 墓苑便り（奉仕会だより）

- ・ 8年1月～2月の献花の予定  
帝国華道院研究部の会員による1月2月の献花は次の方々です。
  - ・ 2月  
ご来苑の際は、是非ご鑑賞下さい。
  - 1月  
池坊宝生流 大澤 勝風  
池坊宝生流 長谷川一翠  
柴山古流・緑山流 濱中 冷雅  
2月  
日新流 小田切博新  
未生流 谷口 信甫
  - 令和8年 役員会議等の予定
  - ・ 令和7年度 第2回通常理事会  
令和8年2月12日(木)
  - 10時30分・・・墓苑会議室
  - ・ 令和8年度 第1回通常理事会  
令和8年4月23日(木)
  - 10時30分・・・墓苑会議室
  - ・ 令和8年度 定時評議員会  
令和8年5月21日(木)
  - 10時30分・・・墓苑会議室
  - ・ 令和7年度 期末監査  
令和8年4月10日(金)
  - ・ G日市ヶ谷から墓苑会議室に変更

## 編集後記

それぞれの会の2週間前までに関係各位へ細部のご連絡をメール等でお送り致します。

昨年「日ソ戦争」（麻田雅文著・中公新書）と「日本軍兵士」（吉田 裕著・中公新書）を読んだ。読後、改めて感じたことは、なせもともと早く戦争をやめることができなかったかだ。1944年以降の戦没者が占める割合は実に全戦没者の91%に達し、また1945年以降は東京大空襲、沖縄戦、広島と長崎への原爆投下やソ連の参戦も受けた。「日本軍兵士」は兵士の目線から先の大戦の実相を述べていて、改めてショックを受けた。膨大な戦病死と餓死、世界で一番高い自殺率、被服・装具を含め装備全般の低充足と劣化、部隊内の私的制裁などについてデータや証言で明らかにしている。

戦没者の多くは、戦闘で亡くなる前にこのような劣悪な条件・環境で辛酸をなめ、さらに戦没してからは遺族や親族も不明で故郷の墓に戻れず、ここ千島ヶ淵戦没者墓苑に奉安されている。改めて戦没者に対し合掌した。



一般財団法人日本宝くじ協会は、宝くじに関する調査研究や公益法人等が行う社会に貢献する事業への助成を行っています。


 一般財団法人  
**日本宝くじ協会**  
<https://jla-takarakuji.or.jp/>



この刊行物は、**宇くじ**<sup>☆</sup>の社会貢献広報事業として助成を受け作成されたものです。